

概説

LiTA12h システムは、LiTA12h-VME モジュール、LiTA12h-ADC 基板、FAMP32 基板からなり、256 チャンネルの信号を高速 ADC でデジタル化できる汎用処理装置です。以下 構成基板の VME 規格基板です。本基板は増設基板をネットワークから制御できるようにする基板である。KEK 開発高速ネットワーク (Gbit-SiTCP 相当) を装備し、増設基板ポート 2 箇所を装備し、機能を拡張できます。ゲートアレイ (FPGA) のプログラミングをすることにより、これらを制御できます。下記に外観図を示す。

(本装置のデータ授受仕様は、データ取得装置 LiTA12a と互換性を有します。)

仕様

2. 仕様 規格 : VME 規格 6 U

2.1. フロントパネル:

2.1.1. 表示:

フロントパネルには本機の動作状況を示す表示器

RDY (緑): 本機が動作中であるときに点灯する。
停止中は 0.5 秒程度の周期で点滅する。

ACC (緑): 内部の設定パラメーターにより点灯する。

2.1.2. スイッチ:

フロントパネルには本機の動作を設定するためのスイッチとして以下のものがある。

アドレス設定スイッチ: VME アドレスにおける本機の使用メモリーの上位 8bit を 16 進ロータリースイッチで設定する。

2.2. コネクタ

T0: パルス中性子の発生を知らせる T0 信号の入力コネクタ。デージーチェンでできるように、内部で接続したコネクタ 2 個ある。

LAN: インターネット回線用の接続コネクタ (RJ-45 型 8 極モジュラージャック)。

LEFT, RIGHT: 40 ピン 2.54mm ピッチリボンケーブル用コネクタ

2.3. VME-BUS: 以下の電源容量以上を供給できること。

5V4A

2.4. その他

動作温度: 0~50 °C

保存温度: -35~85 °C

最大湿度: 80% (結露しないこと)

